



戦略計画 立案ガイド

ロータリー行動計画を土台として
クラブでの体験を充実させ
地域社会に持続的な変化をもたらす



ロータリーの ビジョン声明



私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

四つの優先事項

**より大きな
インパクトをもたらす**

奉仕プロジェクトのデータをより効果的な方法で定義、測定、分析するために必要な手続き、能力、インフラを築き、これを実行しましょう。

クラブでの実践例

地域社会のニーズを反映した、より効果的な奉仕プロジェクトを立案する。

**参加者の
基盤を広げる**

これまで会員がいなかった新しい層の人たちとロータリーの価値観を共有し、仲間を募ってロータリーを体験してもらう方法を生み出しましょう。ロータリーがインクルージョンと参加を促しながら、思いやりをもって、変化を生み出すという大きな目標を掲げていることを身をもって示しましょう。

クラブでの実践例

これまで協力したことのない団体や地元のリーダーと協力する。

**参加者の
積極的な
かかわりを促す**

すべての出会いをロータリーへの参加の機会として生かすことで、ロータリーを通じて地域社会や関心のある分野で大きな変化を生み出せることができることを示しましょう。

クラブでの実践例

クラブの活動に貢献していると全会員が感じ、クラブとかかわるすべての人が意見や提案を述べたり、積極的に参加したりできると感じられるようにする。

**適応力を
高める**

私たちが学び、進化し、地域社会によりよく奉仕できるよう、研究と革新、および進んでリスクを負うことを奨励する文化を作りましょう。

これは、クラブで 次のような形で行われます

クラブが会員や入会候補者のニーズに応えられるよう、どのような活動を継続、開始、中止すべきかを会員に尋ねる。

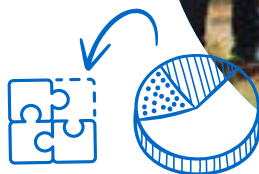


このガイドについて

目的地にたどり着くために地図が必要となるように、クラブや地区が目標とビジョンの達成に向けて行動するには戦略計画が必要となります。持続可能な変化を生むために人びとをつなぎ、行動を起こすというビジョンに向けた長期的な指針であるロータリーの行動計画は、会員が望むロータリーの姿に基づいて形づくられたものです。

これと同じように、クラブも戦略計画を立案し、会員がロータリーに求めている体験を生み出すための指針とすることができます。戦略計画の立案プロセスを通じて、クラブが直面する課題を認識し、その根本的な原因に取り組む方法を見つけることができます。また、クラブでの体験と地域社会での存在感を高める方法も見つかるでしょう。ロータリーが実施した調査によると、戦略計画を立て、それを実行しているロータリークラブは、そうしていないクラブと比べてより活発であり、会員の満足度も高いことが分かっています。

この戦略計画立案ガイドは、行動計画の枠組みと目標を土台としてクラブの戦略計画を立て、クラブのビジョンと長期的優先事項を定めるのに役立つ資料です。ロータリークラブとローターアクトクラブ向けですが、地区でもご利用いただけます。



戦略計画立案プロセスの概要

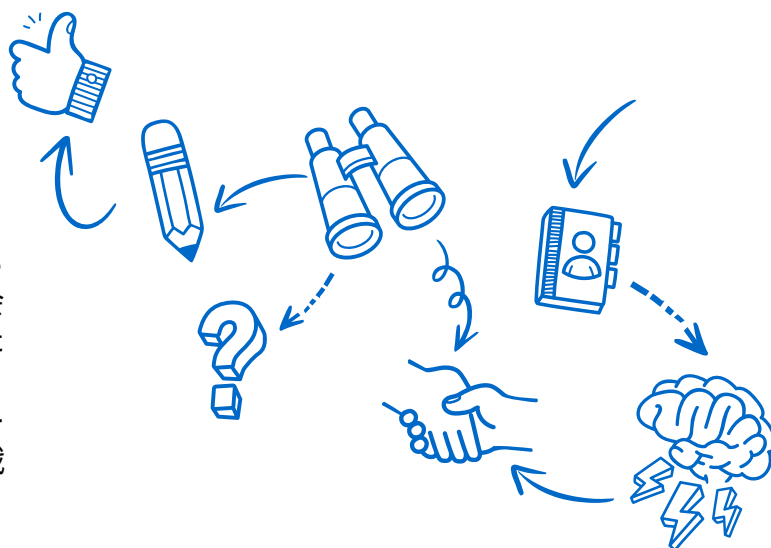
第1段階 現状分析： クラブの現状はどうか？	第2段階 ビジョンの作成： どのようなクラブになりたいのか？	第3段階 計画の作成： どのようにビジョンを実現できるか？	第4段階 進捗の確認： 目標への進み具合はどうか？
<ul style="list-style-type: none"> → 取り組むべき重要課題を特定する → クラブの長所と短所を見極める → 地域社会にある機会と課題を見極める 	<ul style="list-style-type: none"> → クラブに求める特徴をいくつか挙げる → 人びとに認知してもらいたいクラブの特徴について考える → ビジョン声明を書く 	<ul style="list-style-type: none"> → 焦点を当てるべき戦略的優先事項を特定する → 目標を立てる → 実行項目、期日、必要なリソース（資金的サポートなど）をリストアップする 	<ul style="list-style-type: none"> → 目標に向けた進捗を確認する → 目標を達成できなかった場合、その理由を特定する → 必要に応じて戦略計画に調整を加える

はじめよう

- 戦略立案の経験や関心のある会員、および元・現・次期クラブリーダーや委員会メンバーから成るチームを編成しましょう。このチームが、会員が描いたクラブの将来のビジョンを反映した戦略計画を立てます。
- 戦略計画立案セッションのファシリテーター（進行役）を選びます。ファシリテーターは、戦略立案やファシリテーション（進行）の経験のあるクラブリーダー、地元の専門家などが務めることができます。
- さまざまな意見を集めるために、多様な経験や専門知識を持つ会員に参加してもらいます。
- クラブのビジョン声明がロータリーの戦略的ビジョンに沿ったものとなるようにします。
- クラブの戦略計画立案の枠組みとして行動計画を使用します。



地域社会の人びとにも戦略計画立案セッションに参加してもらうことで、多様な視点を反映させることができます。



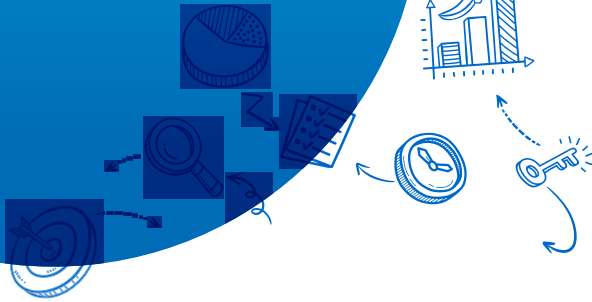
ファシリテーションガイド

戦略計画の立案は、会員の積極的参加を促す機会となります。戦略計画立案セッションを行う際には、このガイドに含まれているワークシートとともに、「ファシリテーションガイド」を利用することをお勧めします。参加に関心を示したすべての会員に参加してもらいましょう。多様な見解をもつ人が多ければ多いほど、会員の要望をよりよく反映した戦略計画を立て、会員が願う共通のビジョンをつくり上げることができます。

第1段階

現状分析：

クラブの現状はどうか？



クラブの長期的目標を立てる前に、以下を行うことが重要です。

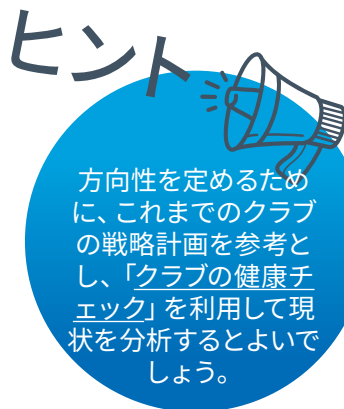
- クラブが直面している重要課題を特定する
- 会員から意見を集め、何に満足しているか、何を変えたいかを尋ねることで、クラブの長所と短所を特定する
- ほかの団体やグループのリーダーと会合し、地域社会にある機会と課題を特定する

クラブが直面している機会や重大な課題を特定する

戦略計画を通じてクラブで取り組みたい重要課題や問題は何かを考えてみましょう。

課題を特定するために、以下のような質問を会員に尋ねます。

- 会員や参加者が望むことのうち、現在クラブが満たせていないことは何か。
- 奉仕プロジェクトを通じてクラブが取り組める地域社会のニーズは何か。
- クラブに多様な会員が入会しない、または多様な会員が維持できない／積極的に参加していない場合、それはなぜか。
- 地元のどのような人たちにクラブの活動に参加してもらおうべきか。それはなぜか。
- 廃止できるクラブでの手続きやプロセスがあるか。
- クラブで試みることができる新しいアイデアには、どのようなものがあるか。どうすればそれを実行に移せるか。



方向性を定めるために、これまでのクラブの戦略計画を参考とし、「クラブの健康チェック」を利用して現状を分析するとよいでしょう。


課題

特定した課題を優先事項別に分類しましょう。そうすることで戦略的に検討することができます。これらの課題は、四つの優先事項にバランスよく分かれていても、一部の優先事項に集中していても、どちらでも構いません。

より大きなインパクトをもたらす	参加者の基盤を広げる	積極的なかかわりを促す	適応力を高める

クラブの長所と短所を特定

会員から出された意見を基に、クラブで何がうまく行っているか（長所）、行っていないか（短所）を挙げてみましょう。

ヒント 

会員満足度調査を実施すれば、クラブの長所と短所を特定して、より魅力的な体験ができるクラブとなることができます。

長所

短所

地域社会にある機会と課題を特定

地域社会にある機会をリストアップし、クラブでそれをどのように生かせるかを考えてみましょう。例えば、地域社会で増えている職種や属性グループから会員を募ったり、起業や事業の発展を支えるためのメンタリングを行ったりできるかもしれません。また、失業率や教育の質など、クラブで取り組める地元の課題も挙げてみましょう。

機会

課題

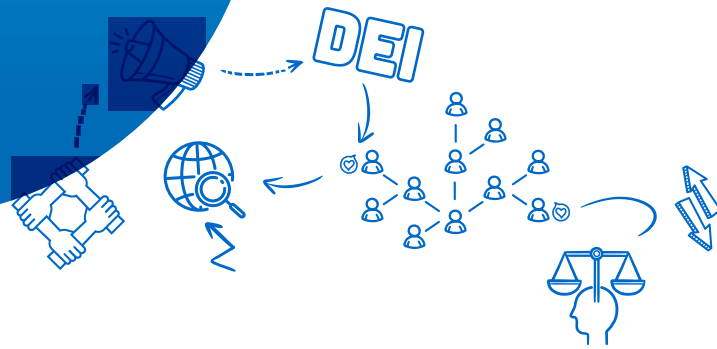
第2段階

ビジョンの作成：

どのようなクラブになりたいのか？

どのようなクラブになりたいのかを決めるために、戦略計画立案チームが協力して次のことを行います。

- クラブに求める特徴をいくつか特定する
- 人びとに認知してもらいたいクラブの特徴は何かを考える
- ビジョン声明を作成する



クラブの特徴

ロータリーのビジョン声明では、「持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する」ことを求めています。このビジョンを実現するために、3～5年以内に実現したいクラブの特徴を5～7つ挙げてみましょう（「奉仕活動が充実」「楽しい」「革新的」「地域社会を代表」など）。

特徴

--

クラブはどのようなことで認知されたいのか？

クラブが地域社会で行っていることについて、人びとにどのように認知してもらいたいかを考えてみましょう。地元に移住してきた人に知ってもらいたいクラブの活動は何か、クラブが地域社会にもたらしたい恩恵は何かを書き出してください。

例として、大学進学を希望する高校生のための放課後学習指導プログラム、家のない人のための小住宅建設などがあります。

クラブのビジョン声明

ビジョン声明は、自分たちが望む未来を定義し、クラブが望む方向性を示すものです。リストアップしたクラブの特徴を参照し、クラブがどのようなことで認知されたいのかを考えながら、戦略計画立案チームで一文のビジョン声明を書いてみましょう。

以下のような質問について考えてみましょう。

- クラブは3～5年後にどのようなになっているか
- 何を達成したいか
- クラブの成功はどのようなかたちで現れるか

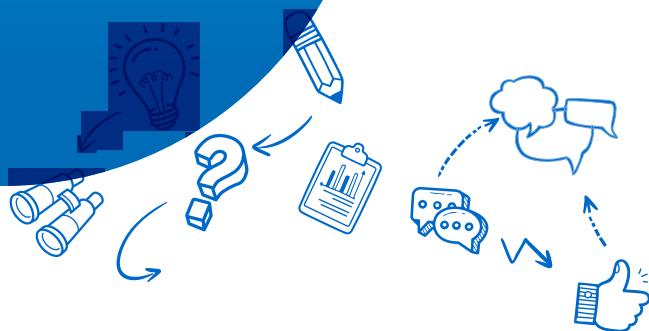
ビジョン声明



ビジョン声明は、クラブ会員の思いを汲んだ内容とする必要があります（例：「当クラブのビジョンは、地元の若者を有意義なかたちでサポートしていることで認知されることです」）

第3段階 計画の作成：

どのようにビジョンを実現
できるか？



クラブの戦略的優先事項に焦点を当て、目標の達成に向けた計画を立ててください。そのために、以下のことを行いましょう。

- クラブが焦点を当てる戦略的優先事項を特定する
- 目標を立てる
- 実行項目、実行期日、必要なリソース（資金的サポートなど）をリストアップする

目標は、クラブにとっての機会や重要課題に焦点を当て、ロータリーの戦略的優先事項に沿ったものとするべきです。次期リーダーと協力することも、複数年にわたる目標の継続性を確保するために不可欠です。

次のページの表に、それぞれの目標と関連する優先事項（より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げる、積極的なかわりを促す、適応力を高める）、実行項目、必要なリソース・人材、担当する会員、達成期日を記入してください。戦略計画は通常、3～5年の周期で実行されるため、クラブリーダーの交替と引継ぎも考慮に入れてください。

目標を立てる際、以下のことを考慮しましょう。

- ロータリーのビジョン声明と行動計画
- クラブの長所と短所
- 地域社会にあるニーズ、機会、課題
- 会員と参加者のニーズと要望
- 現実的にクラブが3～5年以内に達成できること

ヒント



効果的な目標は、「誰が」「何を」「いつ」「どのように」が明確で、測定が可能なものです。

目標の詳細

優先事項 (より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げる、積極的なかわりを促す、適応力を高める)	目標	実行項目	必要なリソースと達成期日	担当する会員

第4段階 進捗の確認： 目標への進み具合 はどうか？

進捗の確認

戦略計画立案チームが目標に向けた進捗を確認し、必要に応じて計画への変更を提案しましょう。新しいクラブリーダーが指名されたら、戦略計画と進捗状況について話し合ってください。新しいリーダーが変更の必要性を提案または理解できるよう、十分に計画を把握しておくことが重要となります。期待どおりの進捗が見られない場合には、新しいアプローチを試したり、目標に向けてより多くのリソースを配分したりできます。

進捗を確認する際にこの表の質問を参考にできます。

目標に向けた進捗確認の計画

目標達成に向けた進捗をどのくらいの頻度で確認するか	
どのような指標を使って達成を測るか、何を基準とするか	
どのように進捗状況をクラブ会員に伝えるか	
誰がクラブの戦略計画と目標への変更を承認するか	

未達成の目標の確認と計画の調整

進捗を確認する際は、達成されていない目標とその理由を含め、目標をすべて書き出します。その上で、必要となる調整と、未達成の目標のための実行項目を決定してください。

未達成の目標について検討する際のポイント：

- 達成した目標は何か
- 未達成の目標は何か
- 達成できなかった主な理由は何か
- 達成するためにどのような調整が必要か

目標	達成／未達成	うまくいったことは何か	改善点は何か	今後は何をどのように変えるか

これでクラブの戦略計画が作成されました。戦略計画の立案は継続的なプロセスであり、状況に応じて見直しを行い、変更を加えることができることを覚えておきましょう。